

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

保育の質の向上を図る／学校法人峰学園すぎの子幼稚園・社会福祉法人峰悠会おおぞら保育園

「すべての子どもに良質な成育環境を保障する等のため、子ども及び子育ての支援」としてスタートした『子ども・子育て支援法』。皆さんの園では、保育の質の向上のために、どのような対策をされていますか
今回は、[当財団で作成している実践事例集](#)を活かしている実践をご紹介します。



園内研修～実践事例集の活用～／保育者

実践事例集「科学する心を育てる」により、保育を振り返る

実践事例集を読み、「科学する心を育てる」保育について話し合う。

保育者が日々の保育の中で「科学する心」を育むために、どのような言葉かけ、環境設定、子どもとの関わり方が必要かを学ぶ。

園内研究会を実施する

- 園の研究テーマを「科学する心を育てる～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～」として、取り組む。
- 年間を通して計画的に研究会を実施できるように、職員会議同様に計画表に記して位置付ける。
- 保育カンファレンスを行う。
- 事例を発表し協議会を行う。

研究協議1：保育者が、子どもたちの気付きを取り上げ受け止める

今まで見落としていた、匂い、手触り、色、形など、五感で感じたことの“つぶやき”を、特に大切にする。そして、様々な感覚・感性を大事にすることが、子どもたちの気付きを取り上げ受け止めることになる。この「気付き・小さな発見」が大きな学びに繋がることを捉える大切さが分かった。

エピソード【オオムラサキや蝶との関わり】

ある子どもが葉の裏に黒い粒を発見。無臭の幼虫の糞だった。

糞を沢山拾い手にいっぱいになった糞の中に「緑もあるよ。なんで？」「…葉っぱを食べたからだ」と子どもたちは気付き、つぶやいた。

保育者は子どもの気付きに寄り添い、保育者もウンチに興味を示して、糞を指ですり潰す。糞がつぶれて深緑の粉状になった物に子どもたちが注目し、「お茶の匂いがする！」と言う子どもの一言で匂いを嗅ぎ、色を観て、より詳しく観察するようになった。



【援助：ウンチに子どもたちが注目し、気付いたことへの興味が深まるようにする】
葉っぱを食べていることで、緑色で臭くない糞の関連性から虫が苦手な子どもも興味が深くなる。



✿ 研究協議2：継続することを大切にする

子どもたちが遊びを継続することを大切にする。保育者は、子どもたちが遊びや活動を継続することで、興味の対象への観察や触れ合いを深めていく姿を把握する。「科学する心」が育まれる変容や育ちを捉えることに繋がる。

✿ 研究協議3：遊びや生活の充実に結び付く

子どもたちが自ら遊びを進める中で、発見により感動したことなど「科学する心」の視点で把握した子どもの姿に寄り添い、その日のうちに子どもたちがもった思いを実現できるように環境設定など援助をして表現活動に繋げることで、子どもたちの充実感も高まった。

エピソード【オオムラサキや蝶との関わり】

オオムラサキの羽化の瞬間に遭遇した子どもたち。

「青い」「中が薄く透けている」「もうすぐ出てくるよ」と興奮する。

羽を乾かす蝶の姿を、息を飲んで見守る。午後の製作活動にてオオムラサキを描いたり粘土や廃材で変態の過程を製作したりする様子があった。



✿ 成果：保育者一人一人の保育の質の向上に結び付いた

- 一人一人の保育者が、子どもに寄り添った関わり方を考え、援助するようになったことを実感している。
- 週日案の計画や反省・評価の記入の仕方などが変化した。
- 全保育者が「科学する心を育む」取り組みの実践事例を作成し、さらに園内研修にて、共通理解を深めることに繋がっている。
- 新任保育者への意識の浸透を図ることに結び付いている。
- 日々の教育活動に追われがちなか中であっても、子どもに視点を当てた教育活動を目指して、園内研修に取り組む。

○ 実践事例集「科学する心を育てる」の活用の実態紹介

実践事例集を、園内の研修に活用したいというご要望が増えています。

そこで、園内の研修・研究に活用されている園を対象に、どのような活用をされているのか、アンケート調査をいたしましたところ、以下のような活用に関する回答をいただきました。

- 「**主題についての考え方**」「**考察の参考**」「**保育計画**」「**日々の保育実践の参考**」「**事例の書き方・まとめ方**」に関する**内容で、それぞれ活用している園が5割近く**、さらに、3つ以上の複数項目で活用している園は8割以上にものぼりました。
- 回答に**具体的な活用例が記述されている園が9割以上**もあり、事例そのものが具体的な実践に結び付いたという内容でした。その他、幼児理解、見取りの視点・考察、援助、教材・環境、記録など、様々な面で活用されていることが分かりました。

- **9割以上の園が、具体的な成果や期待している成果を挙げていました。**

その内容は、保育者の資質の向上、園の保育の向上、主題の理解、研究の深まり、保育に関する共通理解が主なものでした。

無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム
幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」